

◇ 卷 頭 言 ◇

「人と物」の飢饉がやつて來た。急に鐵が足りないセメントが足りない石炭が足りないと云ふ。對歐露支關係は勿論のことその外の原因が集積しての結果に違ひからうけれども大體の見當位は前以つて分つてゐなければならぬことだと思ふ。若し分つてゐたと云ふならばその見當が非常に狂つてゐたといふことになる、これらの經緯の中には何かそこに大きな原因がある譯である私は思ふ從來國家の大國策大計畫の立案にそれぞれの専門家が關係してゐなかつたといふことがこれらの素因ではあるまいか。例へば石炭大增産計畫を樹立するのにその専門家が參與してゐないならば到底實際的の立案が出来る筈がない。

「人と物」の時代になつて以來國家社會の諸衆は著しく變化しつゝある。力強い轉換作用が起つてゐる。高温の水が低温の水の上に上らうとする大きな對流運動が自然の要求のもとに始つてゐる。從來は常識の發達した人が世の中で重きをなし學校で政治經濟を教はつた人が指導的な位置に据つてゐた。然し今日は既に左様な常識で指導して行けない程科學の進歩は激しいのである。従つてこれからは専門家の時代でなければならぬ。

専門家とは單に工科方面のことのみを云ふのではない工農醫は勿論のこと法制的専門家、財政の専門家、軍事の専門家等々といふものが同じ様に商を並べて國家社會を指導して行く様にならねばならぬ。昨日まで土木をやつた者が明日から醫者をやると云へば一般の人が其の無暴に驚く様に經濟部長が警察部長になるのを驚く様にならねば嘘だ。今迄に常識が物を言つたけれどもこれからは専門的智識が物を言ふ。

この専門時代になつた時に初めて本格的な國家社會の發展が期し得られると思ふ。この傾向は既に實業界には明らかに現はれて來てゐる。好むと好まざるにと拘はらず自然の力によつて駸々として押し迫つて來てゐるのである。この時代になつて國策は順調に進め大計畫は遠算なく推進せられ輝しき國運の隆昌に期し得らるゝのである。